

一般質問通告書要旨

清新クラブ 15番議員 高阪康彦

町の公式ホームページの考え方は

ブロードバンドの普及によりインターネットが日常化しています。ネットで情報を得る事はごく普通に使われていますし、旅行の予約や買い物にもネットが使われています。辞書代わりに使っている方もみえます。私もこの一般質問の原稿作りには、ネットをよく利用しますし、会派の行政視察の場合なども行き先が決まったときは、相手先の自治体のホームページにアクセスして、その自治体の概要、財政規模、議会などをみて、予備知識を得ています。このようにホームページはその地域だけではなく、全国の色々な人からアクセスがあります。ですから、その作り方、内容によってはその効果がまったく違ってくるものだと思います。

さて当町の公式ホームページですが、私は、16年12月議会の一般質問で、原村のホームページを取り上げ、その徹底した情報の公開と、職員自らが制作して、動画等を上手に取り入れて発信している事を紹介しました。その時の答弁として、業者委託では防災情報など即座に掲載出来ないの、いずれは、町で制作、更新等を行わなければならないと考えているとの答弁でありました。しかるに以前手つかずのままです。

そこで町のホームページに対する考え方をお聞きするわけですが、現在のホームページでも、町の概要、各課の仕事、施設・議会・広報キッスの紹介等、最小限の役目は果たしています。このままでも支障はないと云う考え方もあります。又、インターネットが普及をしているといっても、60歳位を境に高齢の方には少し荷が重いかも知れませんが、現在は、メール等を考えても、急を要する情報などはパソコンより、携帯電話を利用する比率が高いと思います。これからは、情報によってどちらを使うのか使い分けがされるのではないのでしょうか。このように、ホームページには、まだまだマイナーな面もあります。

しかし、行財政改革が叫ばれるこの時期、最小の費用で最大の効果を得られる事を考えなければいけないと思います。ホームページは、その性格上、町内だけでなく、町内外に発信するものであります。現在、町のホームページは、業者にほぼ丸投げの状態です。これでは、迅速性、担当職員のスキルアップに問題があると思います。よって、以下のお尋ねをします。

更新の頻度と更新をするための手順 今年度の予算として、94万円の予算が組んでありますが、その内訳で更新料はいくらになるか。 現在アップロードしている、ホームページその物の権利はどこにあるのか。又、今の状態で役場で更新が出来るのか。を、お聞きしたいと思います。

先ず、予算の内訳ですが、最初にホームページを制作した時に、制作料は払われていますので、予算の94万円はサーバー代と更新料だけだと思います。私もホームページを持っていますが、レンタルサーバー料とドメインを取っていますので、月3000円位です。それと併せて、プロバイダ料が4000円程ですので、合計7000円程度です。私の場合はADSLを利用しているので、これを光ファイバーに替えれば月1万円程度だと思います。町のサーバー代はもうすこし高いと思いますが、予算の大半は更新

料ではないでしょうか。更新といっても、ホームページのホーム（ホームの説明）は変わっていないし、ほとんどがテキスト形式で作られています。ワードが使える能力があれば、簡単に更新が出来るのではないかと思います。又、新規にページを作ると云うと難しく思いますが、ワードでページを作り、そのページをHTMLに変換して、リンクを貼ればホームページになります。HTMLに変換するのも、クリック1回で変換できます。ですから、サーバーにアクセスするIDとパスワードがわかれば簡単に更新ができます。各課から、更新を、こういった方法でプロバイダーに送っているのかわかりませんが、更新ファイルをメールで送っているとすれば、その能力で更新が出来るのではないかと思います。

次に、四つ目は、担当の企画課は広報kissで手一杯と思われる。ホームページの担当は他の係に替えると云う考えはないか。と云う質問ですが、

これは、以前は情報管理課がありましたので、そこでホームページを担当したらと、考えていましたが、現在は同じ課になったということです。質問の意図が違ってきましたが、要は、忙しいので手が回らないと云うのであれば、やや楽な課があれば、そこをお願いしたらという意味であります。将来は、各課それぞれで自分の持ち分の対応が出来るようになるようになるのがベストと思いますが、どのように考えられておられるでしょうか。

五つ目は、写真、動画などを取り入れ、もう少しビジュアルにしてはどうか。という提案であります。

先ほども指摘をしましたが、町のホームページはテキスト形式が多く、画像があまり使われておりません。昔と違って今はハード的に進歩していますので、容量等を、そんなに心配しなくてもいいし、動画などもスムーズに再生出来るようになっています。例えば、この秋に足湯が出来るようではありますが、のんびり足湯に浸かっている様子を画像、又は動画で発信してはどうでしょう。それを見た町外の人たちは一度行ってみようかなと思われるかも知れません。ホームページは発信するだけなのです。不特定多数の人が、その人の費用で情報を得て蟹江町に来てくれるのです。少し頭を使うことで、最小の費用で最大の効果を挙げることが出来ると思いますが、どのようにお考えか、お尋ねをします。

最後に、ホームページは情報の公開と云うことにおいても重要な役目があると思います。町長に、ホームページに関して基本的な考え方をお尋ねして、質問をおわります。